

# 二つのサロンで 元気で楽しいクラブづくり

## 滋賀県野洲市 野洲老人クラブ

●会員数 184名 (男性78名、女性106名)



滋賀県野洲市

野洲市野洲区は、古くから交通の要であり、中山道を中心に栄えた街道文化と農業、酒造業、晒しなど野洲川の豊かな水を生かした産業により発展した地域です。

自治会の人口は約1100名、その内65歳以上が300名で、高齢化率は約30%とかなり高くなっています。我が野洲老人クラブは、東町、中町、西町の三町を統合した形で成り立っています。

## 二つのサロンの成り立ち

### 〈ふれあいサロン〉

サロンは、もともと市社協が実施していま

したが、市の事業見直しにより自治会の自主事業となりました。しかし、自治会には運営のノウハウがないため、老人クラブに相談があり、民生委員の協力を得ながら、公募したスタッフとともに平成21年に「ふれあいサロン」を立ち上げました。65歳以上の方を対象に、月1回開催して現在に至っています。

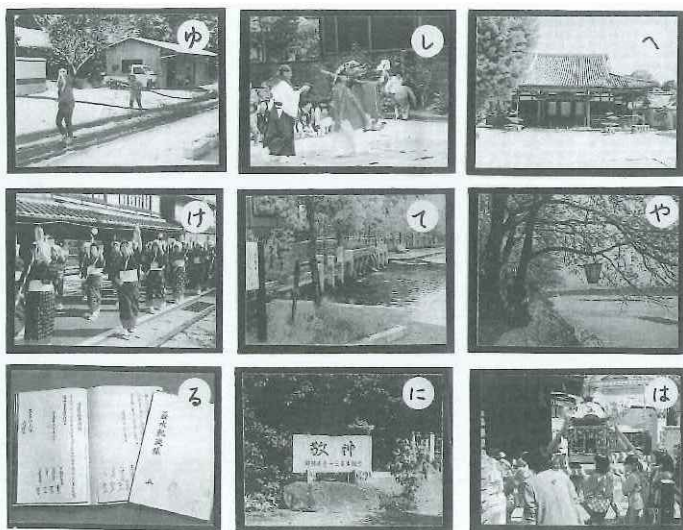
「ふれあいサロン」は、昼食をはさんで、歌創作、講話、映画、ワナゲ等室内での活動のほか、後で紹介します「サロンこのぞ」との合同の花見や工場見学などの研修活動も行っています。

また、わが町の歴史や文化、風習などを再認識する意味で、以前、会員から読み札を募

## 野洲区かるた五〇選

野洲川の  
桜並木が  
懐かしい

新川の  
神樂まりで  
千余年

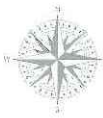


会員で作った「野洲区カルタ」

り製作した「野洲区かるた」をもとに、スライドによる学習を行い、その後、先輩会員の説明で実地見学会も数回行いました。参加者からは、「地元にながら今まで知らなかった事柄にあらためて感銘を深め、先人たちの功績に思いを新たにしたい」との声が聞かれました。

「ふれあいサロン」の参加者は、平成28年度

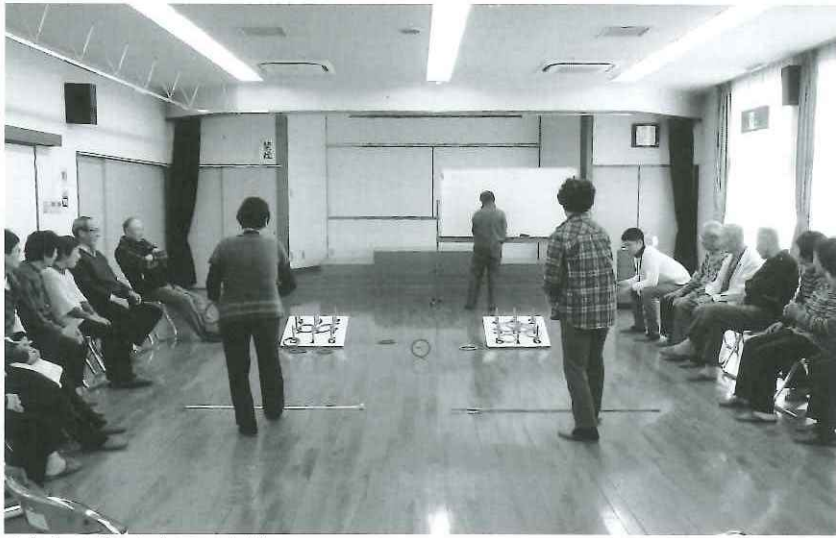




延べ318名、29年度延べ340名でした。

### 〈サロンこのざ〉

「ふれあいサロン」が回を重ねるうちに、子どもから高齢者まで年齢に関係なく幅広く参加できて、内容も形にとらわれない。井戸端会議のようなものがあればいいなあ、といった声が上がってきました。そこで検討の上、もう一つのサロン「サロンこのざ」(「このざ」



ふれあいサロンにてワナゲ

は自治会館所在地の字名)を平成27年7月に発足させ、月1回午前中に開催することになりました。

スタッフは両サロン兼務で、実質的に運営を担っている老人クラブのパワーが頼りにされています。このサロンは、スタッフがあまり手を出さないようにして、参加者が自由におしゃべりできる場所を提供することに主眼を置いています。平成28年度の参加者は延べ221名でしたが、29年度は延べ330名と大きく上回りました。

### 成果をあげたサロン活動

サロンの参加者からは、外に出向く機会が増えたことで健康的になり、また、人との交流が増えてつながりが深くなり、生活にもうるおいが出てきた、との声を耳にします。

活動では、特にバスで出かける見学会は大変人気があり、足の不自由な方にも参加していただけるように配慮していることもあって、希望者が定員を上回る盛況ぶりです。スタッフはうれしい悲鳴を上げています。

また、このようなサロン活動が、近隣の地区からも注目されるようになったことは、運営する側の励みにもなります。

今後は、二つのサロン活動を通じて、少し



両サロンの合同見学会

ずつではありますが、地域住民のつながりが深まってきている状況を踏まえて、さらに明るい会話が飛び交うまちづくりを目指して、老人クラブが率先して、楽しみと喜びのあるクラブ活動として発展させていきたいと願っています。

(会長 三久保謙次)